

平成28年度 伊丹市地域包括支援センター 事業報告

市内の各地域包括支援センターは、「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする」（介護保険法第115条の46）に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、地域における包括的および継続的な支援を行うため、以下の内容に取り組みました。

1. 地域包括支援センター間の情報共有、連絡調整

地域包括支援センターが相互に連携し、情報共有を図り、共通認識を持って地域包括ケアシステムを推進することを目的に、以下の連携会議を開催しました。

会議名	参加者	開催回数
<p>地域包括支援センター管理者会議</p> <p>地域包括支援センター事業実施計画を検討、策定し、計画に基づく各包括の取組状況を参照しあい、業務の標準化を図るとともに、業務推進に向けた連携促進や現場の課題等を共有し、業務改善に向けた検討を目的に開催。</p>	地域包括支援センター管理者	月1回 (11回)
<p>権利擁護業務報告・レビュー会議</p> <p>地域型包括支援センターが関わる虐待ケースの受付件数の報告と、それぞれが対応しているケースの中で、緊急対応等が予測されるケースや全体で共有すべき課題のあるケースについて、振り返りを行い、支援のあり方について、評価・共有することを目的に開催。</p>	権利擁護業務担当者 (社会福祉士中心)	月1回 (12回)
<p>ケアマネジャー支援会議</p> <p>地域包括支援センター事業実施計画に基づき、一体的なケアマネジャーへの支援の具体的検討と取組み状況の共有、評価、情報交換を目的に開催。</p>	ケアマネジャー支援担当者 (主任介護支援専門員中心)	月1回 (12回)
<p>介護予防事業連絡会議</p> <p>地域包括支援センター実施計画に基づく、介護予防推進に向けた一体的な取組みの具体的検討と取組み状況の共有、評価、情報交換を目的に、隔月1回開催する。</p>	介護予防事業担当者 (保健師・看護師中心)	月1回 (12回)

2. 総合相談・権利擁護

1) 総合相談支援

総合相談は、基幹型包括支援センター及び地域型包括支援センターが、その他の関係機関と連携しながら必要な情報収集を行い、介護保険サービスをはじめとした制度の利用や関係機関、地域資源につなぐ等、高齢者等のへの総合的な支援を実施しました。

①相談受付件数・相談内容（主たる相談内容）

年度	サービス関連	介護生活相談関連	権利擁護関連	その他	合計
26年度	2,122	3,235	918	58	6,333
27年度	3,035	4,452	980	131	8,598
28年度	3,286	4,585	1,210	193	9,274

②相談者（複数回答）

年度	本人・家族等	地域住民	地域包括	関係機関	その他	合計
26年度	2,944	1,293	0	2,808	98	7,143
27年度	4,635	1,474	983	2,744	112	9,948
28年度	5,055	1,430	973	2,889	185	10,532

※関係機関・ケアマネジャー・介護サービス事業者、行政関係者等、高齢者関係機関・施設、障害者関係機関・施設、児童関係機関・施設、医療機関等

相談受付件数は平成27年度8,598件から平成28年度9,274件と676件増加となりました。特に権利擁護関連での相談件数が230件の大幅な増加となりました。
相談者は、本人・家族からの相談件数が平成27年度同様に増加している一方で、地域住民からの相談は微減となっています。基幹型包括については、平成27年度同様に相談者は地域型包括、行政からが中心となっています。

③活動支援内容

活動支援内容		26年度	27年度	28年度
訪問状況	訪問件数	4,047	3,977	3,579
活動支援内容	実態把握、安否確認、見守り	6,780	6,952	8,465
	助言、情報提供、広報活動	7,782	7,533	8,149
	福祉サービス利用支援	1,221	1,230	1,340
	虐待の相談・通報等	384	499	773
	特定高齢者の把握	338	51	97
	関係機関との連携・協働（連絡調整含む）	6,100	6,263	7,039
	地域住民との連携・協働（連絡調整含む）	1,920	1,244	1,173
	その他	23	53	33
	合計（訪問件数除く）	24,548	23,825	27,069

相談件数の増加に反して、活動支援内容について、訪問した件数は平成27年度3,977件から平成28年度3,579件で、398件の減少となっています。
また、地域住民との連携・協働について、平成27年度1,244件から平成28年度1,173件となり、71件の微減となりました。
虐待の相談・通報等は、平成27年度499件から平成28年度773件となり、およそ1.5倍と大幅な増加となりました。

2) 高齢者虐待への対応

高齢者等に対する虐待の予防及び早期発見に努めるとともに、虐待ケースが発見された場合には、市地域・高年福祉課、基幹型包括支援センター、地域型包括支援センターが連携し、速やかにコアメンバー会議（支援方針決定会議）を開催することにより、必要な対応を検討し、高齢者本人や家族に対する適切な支援、継続的な見守りにつなげるよう取り組みました。

①虐待の新規相談・通報件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年度	6	3	10	4	7	8	8	4	5	5	7	6	73
27年度	5	3	7	7	3	5	9	4	6	9	4	5	67
28年度	7	7	13	7	10	7	8	8	9	6	5	5	92

※28年度の虐待の相談・通報件数は92件。実態把握の結果、虐待を受けたと判断した事例は54件、虐待を受けたと疑われる事例は38件でした。

②虐待の種別・類型（複数回答）

(単位：件)

	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	合計
26年度	39(41.1%)	4(4.2%)	35(36.8%)	0(0.0%)	17(17.9%)	95
27年度	42(50.6%)	6(7.2%)	19(22.9%)	0(0.0%)	16(19.3%)	83
28年度	58(52.7%)	5(4.6%)	31(28.2%)	1(0.9%)	15(13.6%)	110

虐待の新規相談・通報件数は、平成27年度67件から平成28年度92件で、25件の増加となりました。
平成28年度の虐待の種別・類型は、身体的虐待が58件と最も多く、毎年増加しています。次いで心理的虐待が31件でした。

③包括別虐待内訳件数（平成28年度）

	平成28年 4月1日時 点のケー ス数	平成28年度 新規通報 受理件数	新規通報の虐待種別・類型（複数回答）					終了 ケース	継続 支援 ケース
			身体的 虐待	介護等 放棄	心理的 虐待	性的 虐待	経済的 虐待		
天神川・荻野	20	13	12	0	3	0	0	5	28
稲野・鴻池	17	9	3	1	5	1	1	12	14
伊丹・摂陽	18	13	7	1	4	0	2	8	23
笹原・鈴原	28	14	6	1	6	0	5	15	27
花里・昆陽里	7	5	3	2	1	0	0	4	8
桜台・池尻	9	5	2	0	2	0	1	8	6
神津・有岡	14	11	9	0	1	0	3	8	17
緑丘・瑞穂	15	10	7	0	4	0	2	10	15
南	15	12	9	0	5	0	1	11	16
計	143	92	58	5	31	1	15	81	154

3. 介護予防事業

介護予防業務の進捗状況の共有と、情報交換及び地域住民と協働した介護予防の取り組みについて検討をするため、介護予防事業連絡会を開催しました。また、介護予防の推進を図ることを目的に啓発活動を行うとともに、地域住民が主体的に介護予防に取り組むことを支援しました。

1) 一般介護予防事業

①健康大学

健康・介護予防に関する知識の普及啓発と健康づくりに取り組む動機づけを行うことを目的に実施しました。

実施日	実施場所	参加延人数	内 容
8月25日・9月1日・8日	いたみホール	121名	1時間目：講 座 ①認知症予防 ②ロコモティブシンドローム ③栄養 ④口腔 ⑤血圧 *①～⑤の中で3つのテーマ 2時間目：いきいき百歳体操
9月 6日・13日・27日	スワンホール	69名	
9月16日・23日・30日	きららホール	140名	
9月28日・10月12日	神津福祉センター	73名	
11月25日・12月2日・9日	ラストホール	65名	
12月12日・19日・26日	サンシティホール	64名	
2月 6日・13日・20日	伸幸苑	88名	

②体力測定会

高齢者が自らの体力を把握し、介護が必要な状態に陥らないための動機付けとし、自ら介護予防に取り組むことを目的に実施しました。

実施日	実施場所	参加者	実施日	実施場所	参加者
9月15日	ラストホール	21名	12月1日	人権啓発センター	18名
10月17日	サンシティホール	29名	12月7日	北村センター	12名
10月21日	伸幸苑	21名	12月13日	スワンホール	16名
11月11日	いたみホール	38名	1月19日	ラストホール	18名
11月15日	あそか苑瑞穂	4名	2月16日	神津福祉センター	40名
11月29日	きららホール	43名			

2) 介護予防活動の推進

介護予防を推進するために、介護予防活動に取り組む地域組織を発掘することを意識して、積極的に地域の人に呼びかけました。

①いきいき百歳体操グループ数及び参加者数

年度	H25 年度		H26 年度		H27 年度		H28 年度	
	グループ数	参加者数	グループ数	参加者数	グループ数	参加者数	グループ数	参加者数
合計	5	75	32	480	40	700	56	950
天神川	0	0	3	42	4	67	4	67
荻野	0	0	2	30	2	36	2	36
稲野	0	0	1	8	1	8	2	28

鴻池	0	0	2	35	2	35	5	84
伊丹	0	0	0	0	2	30	2	30
摂陽	1	20	5	105	5	137	6	154
笹原	0	0	0	0	1	10	3	40
鈴原	0	0	4	50	4	70	6	101
花里	0	0	2	26	2	26	2	26
昆陽里	2	25	3	32	3	43	5	65
桜台	0	0	0	0	0	0	1	20
池尻	0	0	0	0	1	10	1	10
神津	0	0	1	15	3	40	2	30
有岡	1	14	2	36	2	36	5	74
緑丘	0	0	2	35	2	50	3	59
瑞穂	1	16	3	47	3	67	3	67
南	0	0	2	19	3	35	4	59

②介護予防講座等の開催状況

内訳	基幹	天・荻	稲・鴻	伊・摂	笹・鈴	桜・池	花・昆	神・有	緑・瑞	南	合計
介護予防等 健康関係	0	26	10	7	20	56	21	4	7	4	155
制度関係等 その他	2	2	0	3	4	19	4	0	0	0	34

③もの忘れ検診及びロコモティブシンドローム検診後のフォローアップ

もの忘れ検診及びロコモティブシンドローム検診（以下、ロコモ検診）受診者のうち、医師の判定が「二次検診が必要」に該当した方に対し、電話等で状況把握を行うことで、支援を要する方を早期に把握し医療機関や住民主体の介護予防活動等につなげるための支援を行いました。

	天・荻	稲・鴻	伊・摂	笹・鈴	桜・池	花・昆	神・有	緑・瑞	南	合計
もの忘れ検診	56	64	129	91	62	54	39	38	32	565
ロコモ検診	217	296	586	431	330	182	225	183	255	2705

4. 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業）

9ヶ所の地域型包括支援センターは、指定介護予防支援事業者として、「要支援1」または「要支援2」の認定を受けた人の生活や心身の状態、取り巻く環境等を把握したうえで、介護予防サービス・支援計画書（介護予防ケアプラン）を作成し、自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントを実施しました。

①介護予防ケアプラン作成受付受理件数

伊丹市全体	天神川	荻野	稲野	鴻池	伊丹	摂陽	笹原	鈴原	桜台	池尻	花里	昆陽里
直接プラン	6	1	11	7	26	10	8	5	9	7	10	7
委託プラン	49	26	41	28	63	31	101	33	30	36	22	30
住宅改修・福祉用具	3	2	1	1	0	0	3	2	1	2	1	2
暫定利用	6	6	9	2	35	18	17	11	2	2	16	23
受理数計	64	35	62	38	124	59	129	51	42	47	49	62
比率 (%)	5.9%	3.2%	5.7%	3.5%	11.4%	5.4%	11.9%	4.8%	3.9%	4.3%	4.5%	5.7%

伊丹市全体	神津	有岡	緑丘	瑞穂	南	市外	合計
直接プラン	4	7	10	4	23	0	155
委託プラン	36	46	46	20	56	2	696
住宅改修・福祉用具	0	0	9	5	0	0	32
暫定利用	6	10	7	3	31	0	204
受理数計	46	63	72	32	110	2	1,087
比率 (%)	4.2%	5.8%	6.6%	2.9%	10.1%	0.2%	100%

介護予防ケアプラン作成受付受理件数では、最多は笹原の129件、次いで伊丹の124件、南の110件の順番となっており、南部エリアに件数が集中しています。

②介護予防支援 新規契約件数

包括名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率 (%)
天神川・荻野	4	5	6	2	8	6	7	7	3	8	5	6	67	8.3%
稲野・鴻池	7	13	4	5	6	9	8	3	6	5	4	6	76	9.4%
伊丹・摂陽	10	4	10	12	12	7	8	9	11	10	11	9	113	14.0%
笹原・鈴原	10	7	11	17	11	13	20	6	5	11	14	24	149	18.5%
桜台・池尻	5	5	7	5	5	6	5	6	11	8	5	5	73	9.0%
花里・昆陽里	9	3	8	8	5	9	2	5	4	9	3	5	70	8.7%
神津・有岡	4	3	11	9	12	6	10	9	8	5	16	3	96	11.9%
緑丘・瑞穂	7	6	4	10	6	11	11	7	4	6	7	6	85	10.5%
南	5	5	10	10	9	6	6	4	6	8	5	4	78	9.7%
小計	61	51	71	78	74	73	77	56	58	70	70	68	807	100%
比率 (%)	7.6%	6.3%	8.8%	9.7%	9.2%	9.0%	9.5%	6.9%	7.2%	8.7%	8.7%	8.4%	100%	

新規契約件数は、最多が、笹原・鈴原の149件、次いで伊丹・摂陽の113件、神津・有岡の96件の順となっています。笹原・鈴原の件数は、伊丹市全体の2割近くを占めています。

○介護予防ケアプラン作成件数および評価の状況

介護予防ケアプランの作成実人数は、2,740人で、昨年度に比べ117人の増加となっています。延べ5,507人のプラン評価を実施し、自立に向けた支援経過について、以下の状況となりました

③プラン作成及び評価実施数

	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	桜台・池尻	花里・昆陽里
プラン作成実人数	280	284	378	244	216
プラン作成数	615	565	705	506	439
プラン評価数	498	389	505	362	377

	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	笹原・鈴原	伊丹市
プラン作成実人数	274	258	276	530	2,740
プラン作成数	546	501	556	1074	5,507
プラン評価数	464	335	441	859	4,230

プラン作成実人数の最多は笹原・鈴原包括の530人で、市全体の1/5を占めており、他の地域と比較して倍近い件数となっています。
次いで伊丹・摂陽包括378人、稲野・鴻池包括の284人の順となっています。
プラン作成数についても同様で、地域による件数の格差が見られました。

男女比は、全体の約7割が、女性となっています。
また、年齢別にみると、75歳以上の後期高齢者の割合が8割を超えています。
地域ごとに見ても同様の傾向が見られ、地域による大きな違いはありませんでした。

④男女比および年齢

年齢構成	天神川・荻野			稲野・鴻池			伊丹・摂陽			桜台・池尻			花里・昆陽里		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
65歳未満	5	4	9	6	4	10	8	6	14	6	2	8	1	2	3
65歳～74歳	29	27	56	11	28	39	23	34	57	18	26	44	14	27	41
75歳～84歳	37	104	141	48	103	151	45	145	190	35	86	121	33	77	110
85歳～94歳	26	44	70	27	57	84	38	73	111	19	51	70	12	48	60
95歳以上	1	3	4	0	0	0	4	2	6	0	1	1	1	1	2
計	98	182	280	92	192	284	118	260	378	78	166	244	61	155	216

年齢構成	神津・有岡			緑丘・瑞穂			南			笹原・鈴原			伊丹市		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
65歳未満	5	4	9	10	2	12	3	2	5	4	4	8	48	30	78
65歳～74歳	20	37	57	22	27	49	20	18	38	21	36	57	178	260	438
75歳～84歳	34	99	133	37	77	114	38	99	137	56	202	258	363	992	1,355
85歳～94歳	16	55	71	19	59	78	27	64	91	55	145	200	239	596	835
95歳以上	0	4	4	2	3	5	0	5	5	2	5	7	10	24	34
計	75	199	274	90	168	258	88	188	276	138	392	530	838	1,902	2,740

⑤プラン作成時の介護度の状況

開始時の介護度	天神川・荻野			稲野・鴻池			伊丹・摂陽			桜台・池尻			花里・昆陽里		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
要支援1	46	81	127	43	92	135	53	128	181	32	91	123	27	77	104
要支援2	52	101	153	49	100	149	65	132	197	46	75	121	34	78	112

開始時の介護度	神津・有岡			緑丘・瑞穂			南			笹原・鈴原			伊丹市		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
要支援1	33	92	125	40	74	114	46	90	136	75	205	280	395	930	1,325
要支援2	42	107	149	50	94	144	42	98	140	63	187	250	443	972	1,415

計 2740



⑥評価の状況

	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	桜台・池尻	花里・昆陽里
A 維持	396	286	390	284	293
①予防給付の利用を継続					
B 改善	23	19	21	13	22
②要支援2から要支援1へ変更	12	12	15	8	10
③二次予防事業へ移行	0	1	1	0	0
④一次予防事業へ移行	0	0	0	0	1
⑤セルフケアで日常生活が成立するため、予防給付利用を終了(非該当、未利用等)	11	6	5	5	11
C 悪化	69	71	84	51	49
⑥要支援1から要支援2に変更	25	21	20	15	10
⑦要支援から要介護に変更	44	50	64	36	39
D その他	10	13	10	14	13
⑧環境変化等による予防給付利用終了(施設入所・入院・転出・家族同居等)	7	10	7	8	11
⑨死亡	3	3	3	6	2
ABCD計	498	389	505	362	377

	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	笹原・鈴原	伊丹市
A 維持	379	244	332	708	3,312
①予防給付の利用を継続					
B 改善	15	17	18	31	179
②要支援2から要支援1へ変更	6	9	11	15	98
③二次予防事業へ移行	0	0	0	0	2
④一次予防事業へ移行	0	0	0	0	1
⑤セルフケアで日常生活が成立するため、予防給付利用を終了(非該当、未利用等)	9	8	7	16	78
C 悪化	58	55	74	87	598
⑥要支援1から要支援2に変更	9	12	20	35	167
⑦要支援から要介護に変更	49	43	54	52	431
D その他	12	19	17	33	141
⑧環境変化等による予防給付利用終了(施設入所・入院・転出・家族同居等)	8	12	13	27	103
⑨死亡	4	7	4	6	38
ABCD計	464	335	441	859	4,230

評価の状況は、プラン開始時からの介護度の状況は、A維持が3,312と約8割を占めています。B改善は、179で全体の4% C悪化は、598で全体の14%となりました。

⑦平成28年4月時点の介護度の状況

評価終了時の介護度	天神川・荻野			稲野・鴻池			伊丹・摂陽			桜台・池尻			花里・昆陽里		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
非該当	0	0	0	1	3	4	0	0	0	1	1	2	0	0	0
事業対象者	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	35	67	102	37	71	108	40	108	148	26	70	96	20	51	71
要支援2	43	84	127	29	88	117	51	109	160	31	68	99	23	74	97
要介護1	13	14	27	14	11	25	16	26	42	4	10	14	8	14	22
要介護2	4	9	13	5	7	12	5	8	13	7	9	16	3	8	11
要介護3	3	3	6	1	2	3	3	2	5	2	2	4	1	0	1
要介護4	0	0	0	1	1	2	2	3	5	2	0	2	1	0	1
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	0	1
その他	0	5	5	4	5	9	1	2	3	5	6	11	4	8	12
死亡	0	3	3	1	1	2	1	1	2	3	3	6	2	1	3
施設入所	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	2	2	4
入院	0	1	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	4
転出	0	1	1	1	2	3	0	0	0	2	2	4	0	1	1

評価終了時の介護度	神津・有岡			緑丘・瑞穂			南			笹原・鈴原			伊丹市		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
非該当	0	1	1	0	1	1	2	1	3	0	1	1	4	8	12
事業対象者	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4	4	1	9	10
要支援1	21	74	95	28	70	98	33	74	107	56	166	222	296	751	1,047
要支援2	34	87	121	34	63	97	31	72	103	57	164	221	333	809	1,142
要介護1	11	16	27	9	18	27	12	19	31	13	34	47	100	162	262
要介護2	5	8	13	5	5	10	2	9	11	3	9	12	39	72	111
要介護3	0	5	5	1	0	1	0	1	1	2	2	4	13	17	30
要介護4	1	3	4	2	2	4	1	1	2	1	1	2	11	11	22
要介護5	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	1	1	3	4	7
その他	3	5	8	10	8	18	5	10	15	6	10	16	38	59	97
死亡	1	3	4	4	3	7	5	1	6	4	5	9	21	21	42
施設入所	0	1	1	1	0	1	0	4	4	1	1	2	4	11	15
入院	1	1	2	5	5	10	0	1	1	1	3	4	9	16	25
転出	1	0	1	0	0	0	0	4	4	0	1	1	4	11	15

計 2740

平成29年4月時点での介護度の推移状況は、
 2,740人中、2,189人(約8割)が、事業用対象者、要支援1もしくは要支援2の状況となりました。
 非該当が12人で全体の0.4%、要介護の認定となった人が、432人で、全体の16%を占める結果となりました。

5. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者の生活支援を継続的に支援するため、地域の多様な関係機関と連携を図りました。

1) 連携会議等への参加

会 議 内 容	開催回数
伊丹市医師会認知症対応向上委員会への参加	年 4 回
地域密着型サービス事業所連絡会への参加	年 4 回
伊丹地区地域連携担当者連絡会の参加	年 4 回
伊丹市介護保険課・市立伊丹病院・基幹型包括連携会議への参加	年 4 回

2) ケアマネジャーへの支援

①介護支援専門員連携会

「日頃ケアマネジャー同士のつながりが持てない」「お互いに情報共有を図る場がほしい」というケアマネジャーの意見を基に、市内の居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャーの連携体制の強化と相互の情報共有を目的に「介護支援専門員連携会」を開催しました。これにより、介護支援専門員同士の顔と顔の見えるつながりづくりの場として、また包括、行政との連携の強化、情報共有の促進の場となりました。

内 容	対 象 者	参加者数	実施日	場 所
ワールドカフェ方式での意見交換会、名刺交換会	伊丹市内の居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャー	91名	7月14日	いきいきプラザ
①介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務について（包括・市介護保険課） ②伊丹市ケアマネジメント支援会議の実施について（包括・市介護保険課） ③まちなかミマモルメの利用申請について（市地域・高年福祉課）	伊丹市内の居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャー	183名	2月17日	伊丹市立総合教育センター

②包括的・継続的ケアマネジメント研修等

市内のケアマネジャーをはじめとした専門職の支援スキル向上を目的とした研修会を、定期的で開催しました。多くの方に参加いただき、対人援助スキルや制度理解、高齢者虐待防止等、幅広いテーマについて、多職種で共通して理解を深める場となりました。

内 容	対 象 者	参加者数	実施日	場 所
地域包括支援センター職員研修会 地域包括支援センターとくらし・相談サポートセンターのより強固な連携構築を目指して (市くらし・相談サポートセンター) かしこい消費者になろう (市民自治部まちづくり室消費生活センター)	地域包括支援センター・行政職員 他	32名	5月13日	いきいきプラザ
高齢者虐待ケースの支援について～支援プロセスから見える支援の視点～ 福富 昌城 氏(花園大学社会福祉学部教授)	ケアマネジャー・地域包括支援センター・介護サービス提供事業所 他	112名	8月10日	伊丹市立産業・情報センター

地域包括支援センター職員研修会 地域づくりによる介護予防の推進とは 柳 尚夫 氏 (兵庫県但馬県民局豊岡健康福祉事務所 所長)	地域包括支援センター・コミュニティワーカー・行政職員	37名	9月2日	いきいきプラザ
サービス担当者会議に強くなる 山内 賢治 氏 (社会福祉法人 神戸福生会 高齢者ケアセンターながた施設長)	ケアマネジャー・地域包括支援センター・介護サービス提供事業所 他	82名	11月30日	ことば蔵
地域包括ケアシステムと介護予防・日常生活支援総合事業について 土屋 幸己 氏 (公益財団法人 さわやか福祉財団 戦略アドバイザー)	ケアマネジャー・地域包括支援センター・介護サービス提供事業所 他	150名	1月12日	いきいきプラザ
地域包括支援センター職員研修会 法律職を交えた事例検討会	地域包括支援センター・弁護士	15名	1月25日	いきいきプラザ
兵庫県介護支援専門員協会伊丹支部共催研修会 学ぼう！ 気づきの事例検討会 谷 義幸 氏 (公立神崎病院 ソーシャルワーカー)	ケアマネジャー・地域包括支援センター・行政職員 他	68名	1月26日	いきいきプラザ

③地域包括支援センター 伊丹市ケアマネジメント支援会議実施に向けた事前学習

市内のケアマネジャーのアセスメント力の強化と自立支援に資するケアマネジメント強化を図ること、また、地域における人材育成と支援ネットワークづくりを目的に実施予定の主任介護支援専門員と地域包括支援センターが協働した、市全体での気づきの事例検討会（伊丹市ケアマネジメント支援会議）に向けた事前学習会を実施し、平成29年度に向けて準備を図りました。

内容	対象者	参加者数	実施日	場所
気づきの事例検討会① 開催後の振り返り	地域包括支援センター・主任ケアマネジャー・行政職員	12名	5月27日	いきいきプラザ
気づきの事例検討会に必要な知識①			6月24日	
気づきの事例検討会② 開催後の振り返り			7月22日	
気づきの事例検討会に必要な知識②			8月26日	
気づきの事例検討会③ 開催後の振り返り			9月23日	
気づきの事例検討会に必要な知識③			10月28日	
気づきの事例検討会④ 開催後の振り返り（スーパーバイズ） 前川 嘉彦 氏 (社会福祉法人 三翠会 特別養護老人ホーム副施設長)			11月25日	
気づきの事例検討会に必要な知識④			12月16日	
気づきの事例検討会⑤ 開催後の振り返り			1月27日	
気づきの事例検討会に必要な知識⑤			2月24日	

④介護予防・日常生活支援総合事業開始に向けた体制整備における検討

平成29年度からの介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴う、介護予防ケアマネジメントの体制づくりを、市とともに進めました。

実施日	内容
ケアマネジャー支援会議の中で検討	介護予防及び介護予防ケアマネジメントについて (介護予防・日常生活支援総合事業開始に向けた課題共有と体制整備に向けた検討、業務マニュアルの内容検討及び作成、利用者基本情報、アセスメントツールの内容検討及び作成等)

3) 地域ケア会議

地域包括ケアシステム構築に向けた、多職種協働の地域包括支援ネットワーク「地域ケア会議体制(全体デザイン図)」の整備を市介護保険課とともに実施し、本市における地域ケア会議の明確化を図りました。

①地域ケア会議(個別ケア会議)の開催

「伊丹市地域ケア会議マニュアル(個別ケア会議編)」を市介護保険課とともに作成し、マニュアルに基づいて、個人の課題解決と支援ネットワーク構築をめざした、地域住民も含めた多職種協働による「個別ケア会議」を、地域包括支援センターが中心となり開催しました。

○包括圏域別 個別ケア会議開催状況

	天・荻	稲・鴻	伊・摂	笹・鈴	桜・池	花・昆	神・有	緑・瑞	南	合計
個別ケア会議	1	0	1	0	1	2	2	1	1	9

②地域ケア会議に関する関係機関への周知

「伊丹市における地域ケア会議について(地域ケア会議説明資料)」を作成し、「医療と介護の連携を語る会」、「介護保険サービス事業所連絡会」、「介護支援専門員連携会」等を通じて、関係機関への周知を図りました。

6. 認知症ケアの推進

認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症の容態に応じ、全ての期間を通じて必要な医療・介護及び生活支援を行うサービス機関が有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援体制を構築するとともに、認知症ケアの向上を図るための取組みを推進することを目的に、医療や介護の関係機関等の連携支援や認知症の人やその家族を支援する体制づくり等に取り組みました。

①「認知症ケア多職種研究会」の開催

医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図ることを目的に「認知症ケア多職種研究会」を開催しました。

主な内容	参加者	参加者数	実施日	場所
*「まちなかミマモルメ」・「さがしてメール」について *今年度の取組みについて	医師 歯科医師 薬剤師 介護支援専門員 地域密着型サービス事業所	固定メンバー 14名	9月1日	いきいきプラザ

「事例を通じて他職種連携について学ぶ」ワークショップ	民生委員児童委員 伊丹市認知症等介護者家族会 市介護保険課 コミュニティワーカー 地域包括支援センター	10月12日
「事例を通じて他職種連携について学ぶ」ワークショップ振り返り		1月25日

②「認知症ケア多職種協働研修会」の開催

多職種間での情報共有や互いの役割・機能の理解を深める機会として「認知症ケア多職種協働研修会」を開催しました。

内 容	対 象 者	参加者	実施日	場 所
川西市の実践から学ぶ～認知症の人の支援における医療と介護等の有機的な連携～	医師・歯科医師・薬剤師・医療関係者・居宅介護支援事業所職員・介護サービス提供事業所職員・行政職員・地域包括支援センター職員等	79名	12月15日	いたみホール
認知症ケアにおける伊丹市の資源を知ろう～医療編～		94名	3月23日	中央公民館

③認知症フォーラムの開催

認知症ケアにおける取組みを紹介し、市民を含めて、今後の認知症ケアについて考える場とすることを目的に「認知症フォーラム」を開催しました。

内 容	対 象 者	参加者	実施日	場 所
若年認知症の人と家族の思い～地域の居場所づくりについて考える～	若年認知症の方とご家族、若年認知症に関心のある方	24名	2月15日	あそか苑みずほ

④「認知症サポーター養成講座」の開催

関係機関、民間企業、一般市民等から依頼を受け、認知症の人と家族への応援者を養成する「認知症サポーター養成講座」を、市、地域包括支援センター、キャラバンメントと連携し開催しました。

内 訳	基幹	天・荻	稲・鴻	伊・摂	笹・鈴	桜・池	花・昆	神・有	緑・瑞	南	合計
認知症サポーター養成講座	3	2	2	2	2	2	2	1	5	2	23

⑤その他研修会等の開催

認知症予防をはじめ、認知症への理解・啓発や認知症の人やその家族等の居場所づくりに関する研修会や講座を開催しました。

内 訳	基幹	天・荻	稲・鴻	伊・摂	笹・鈴	桜・池	花・昆	神・有	緑・瑞	南	合計
認知症予防等 その他	3	3	2	4	1	4	3	3	3	2	28

⑥認知症カフェの立ち上げ支援

コミュニティワーカーと協働し、認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域の人など、誰もが気軽に参加できる集いの場として開催する「認知症カフェ」の開設を目指

す住民ボランティア等へ相談対応、情報提供、助言等の支援に取り組みました。平成 28 年度は3か所の「認知症カフェ」が開設しました。

- i) オレンジカフェゆうかり
 - * 開設日：5月21日（土）
 - * 開催日時：毎月第3土曜日 13時～17時
- ii) ものづくりカフェ「ふらっと」
 - * 開設日：3月22日（水）
 - * 開催日時：毎月第4水曜日 14時～16時
- iii) オレンジカフェ「ほほえみ」
 - * プレオープン日：11月26日（土）、3月25日（土）
 - （※平成29年4月22日に開設予定）

⑦家族会等への参加

認知症の家族を介護する人等が集う「伊丹市認知症等介護者家族の会（ほほえみの会）」と「若年認知症の会（ふらっと）」の定例会に参加し、本人・家族が抱える悩みに寄り添い、助言や情報提供を行うとともに、つどいの場運営のサポート等を行いました。

7. 高齢者実態調査の実施

ひとり暮らし高齢者及び要援護高齢者の実態を把握するため、伊丹市民生委員児童委員連合会の協力を得て高齢者実態調査を実施しました。また、民生委員児童委員との連携により、必要な高齢者等に対して各地域包括支援センターがフォローアップ訪問を実施しました。

○調査期間：6月1日～6月30日（平成28年度） ○調査方法：訪問による聴き取り調査

○調査結果

平成26年度	ひとり暮らし高齢者数 要援護高齢者数	6,050人（男：1,565人- 25.9% 女：4,485人- 74.1%） 973人（男：317人- 32.6% 女：656人- 67.4%）
平成27年度	ひとり暮らし高齢者数 要援護高齢者数	6,535人（男：1,753人- 26.8% 女：4,782人- 73.2%） 938人（男：307人- 32.7% 女：631人- 67.3%）
平成28年度	ひとり暮らし高齢者数 要援護高齢者数	7,027人（男：1,922人- 27.4% 女：5,105人- 72.6%） 965人（男：307人- 31.8% 女：658人- 68.2%）

○地域包括支援センターフォローアップ訪問件数

センター名	訪問件数	センター名	訪問件数
天神川・荻野	87	緑丘・瑞穂	29
花里・昆陽里	50	笹原・鈴原	103
稲野・鴻池	45	南	100
神津・有岡	139	桜台・池尻	83
伊丹・摂陽	97	合計	733

8. 伊丹市生活支援・介護予防サービス体制整備事業

1) 伊丹市地域包括支援センター運営協議会への参画

第1層協議体として位置づけられている「伊丹市地域包括支援センター運営協議会」へ出席しました。

*開催日：6月2日、6月24日、7月15日、8月8日、8月24日

*内容：「介護予防・日常生活支援総合事業のあり方について」

2) 「民生委員児童委員地区懇談会」での高齢者ニーズ等の把握

民生委員児童委員が高齢者実態調査等を通して把握した高齢者の実態や福祉ニーズを共有し、日常生活圏域（小学校区）における漏れのない相談支援体制づくりとそこから見えてくる地域課題を把握することを目的に、民生委員児童委員、地域包括支援センター、コミュニティワーカー、生活支援コーディネーターが参集し、「民生委員児童委員地区懇談会」を開催しました。

○懇談会内容

- ・民生委員児童委員活動（高齢者実態調査）を通して把握した「気になった、心配なケース、対応に困った（困っている）ケース」について
- ・ケアマネジャーや地域包括、社協等の専門職とのかかわり、うまく連携ができたケースについて
- ・今後、ケアマネジャーや地域包括、社協等の専門職に期待すること等について

	校 区	実施日	参加人数		校 区	実施日	参加人数
1	花 里	10月27日	13人	10	伊 丹	11月18日	19人
2	池 尻	10月27日	18人	11	摂 陽	11月18日	13人
3	鈴 原	11月1日	15人	12	笹 原	11月24日	19人
4	緑 丘	11月7日	21人	13	昆陽里	11月24日	14人
5	瑞 穂	11月10日	13人	14	鴻 池	11月24日	11人
6	稲 野	11月12日	17人	15	神 津	11月24日	14人
7	荻 野	11月12日	15人	16	南	11月28日	8人
8	天神川	11月17日	21人	17	桜 台	未実施	—
9	有 岡	11月18日	20人				

3) 住民を対象にした研修会の開催

①昆陽里小学校地区地域福祉ネット会議での勉強会の実施

- *開催日：8月4日
- *参加者：地域福祉ネット会議委員等 26名
- *内 容：「介護保険改正とこれからの地域づくりを考える」
「何する？どうする？2025年に向けて」

②鴻池小地区住民福祉座談会の実施

- *開催日：12月1日
- *参加者：自治会長・役員、民生委員児童委員、地域福祉ネット会議委員、ボランティア、地区社協福祉部員等 28名
- *内 容：「介護保険改正とこれからの地域づくりを考える」
「地域にある資源（活動や人等）を今一度見つめ直そう」

4) 協議体に向けた住民組織との話し合い

今後の地域づくりや地域福祉活動の充実に向けて、小学校区単位で地域住民等と協議しました。

①摂陽地区情報交換会（摂陽地区福祉のまちづくり協議会役員等との協議）の開催

- *参加者：まちづくり協議会役員、市介護保険課、社会福祉協議会（地域福祉推進室長、コミュニティワーカー、生活支援コーディネーター）等

内 容	実施日	実施場所
・今後の進め方について 等	4月26日	せつようセンター
・新総合事業実施に向けて 等	5月25日	せつようセンター
・これからの摂陽地区が目指す地域ビジョンについて 等	6月9日	せつようセンター
・これからの摂陽地区が目指す地域ビジョンについて 等	6月22日	いきいきプラザ
・事業にかかる必要経費について 等	7月19日	いきいきプラザ
・アンケート調査について ・「介護予防・日常生活支援総合事業のあり方についての 答申書」について 等	10月5日	いきいきプラザ
・スケジュールについて ・目指す方向性について 等	10月14日	いきいきプラザ
・アンケート調査について 等	11月12日	いきいきプラザ
・ボランティア連絡会について ・アンケート調査配布について 等	1月13日	いきいきプラザ
・アンケート集計結果について 等	2月21日	いきいきプラザ
・アンケート集計結果について ・試算について 等	3月27日	いきいきプラザ

②民生委員児童委員校区会への参加

*開催日：7月14日

*参加者：民生委員児童委員

*内 容：介護保険改正のポイント及び「これからの摂陽地区がめざす地域ビジョン」について

③摂陽地区地域福祉ネット会議への参加

内 容	実施日	実施場所
・「これからの摂陽地区がめざす地域ビジョン」について	8月3日	せつようセンター
・摂陽地区地域ビジョンの意見交換について ・「助けあいセンターアンケート」の作成について	10月19日	せつようセンター

④せつよう助け愛センターボランティア連絡会への参加

*開催日：11月30日

*内 容：・運営状況、活動報告について

・摂陽の福祉ビジョンについて

・せつよう助け愛センター充実に向けたアンケートの実施について 等

⑤鈴原地区社会福祉協議会・ボランティア再活室会議への参加

内 容	実施日	実施場所
・登録ボランティア連絡会の報告および意見交換 ・ボランティア再活室の活動目標について 等	9月21日	ゆうかりセンター
・連絡会・交流会の持ち方について 等	11月17日	ゆうかりセンター

・ボランティア連絡会について 等	12月12日	ゆうかりセンター
・ボランティア依頼件数、広報について ・ボランティア体制について 等	2月7日	ゆうかりセンター
・広報について ・ボランティア組織体制について 等	3月27日	ゆうかりセンター

⑥鈴原ボランティアセンター登録ボランティア連絡会への参加

*開催日：2月27日

*内 容：・ボランティア再活室について
・運営状況について
・ボランティア間の情報交換（交流会） 等

5) 「地域包括ケアシステム推進プレ会議・ワーキング」の開催

地域資源やニーズを把握し、また協議体のあり方等を検討するために、市担当者及び社協担当者により開催しました。

*参加者：市介護保険課、市地域・高年福祉課、社会福祉協議会（地域福祉推進室長、コミュニティワーカー、基幹型地域包括支援センター長、生活支援コーディネーター）

*開催回数：計11回

6) 阪神7市1町生活支援コーディネーター情報交換会の開催

住民主体の地域づくりに向けた住民への啓発や地域へのアプローチの方策等について共有・検討するため、宝塚市・西宮市・伊丹市の生活支援コーディネーターが発起人となり、阪神7市1町の生活支援コーディネーターで企画・運営し、「阪神7市1町生活支援コーディネーター情報交換会」を開催しました。

*情報交換会講師：神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 藤井 博志氏

内 容	実施日	実施場所
第1回情報交換会	5月31日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの
運営委員会①	8月1日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの
運営委員会②	9月5日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの
運営委員会③	10月20日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの
第2回情報交換会	10月28日	伊丹市立図書館
運営委員会④	11月15日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの
運営委員会⑤	12月21日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの
運営委員会⑥	2月22日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの
第3回情報交換会	3月14日	西宮市総合福祉センター
運営委員会⑦	3月29日	西宮市社協 地域共生館ふれぼの